セミナー概要

主　催

公益財団法人ユニベール財団
ハワイ大学マイロン B. トンプソン（MBT）ソーシャルワーク学部
ナ・レイ・アロハ財団

後　援

一般社団法人日本ケアマネジメント学会　一般社団法人日本社会福祉学会
一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟
公益社団法人日本社会福祉士会　特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会
日本地域福祉学会
（以上、申請中）

プログラムの目的

①「アロハ精神」「オハナ」等、ハワイ独自の文化を基盤に実践されているソーシャルワークの概要を学習する
②ソーシャルワーカーという専門職の実際を見聞し、その精神とあり方を体験的に学ぶ
③ハワイの地域住民とのふれあい等を通して異文化を体験し、効果的なコミュニケーション・スキルを学ぶ
④講師やメンター（ハワイ大学大学院生および卒業生の日本人）との交流・参加者同士の支え合いにより学習の理解を促進する

日　程

2020年2月15日（土）～3月1日（日）16日間

開催場所

ハワイ大学マノア校
宿泊ホテル会議室、その他

対　象

ソーシャルワーカーをめざす
大学院生・大学生

修了式にて修了証書授与

ハワイ大学マノア校

ハワイ大学 MBT ソーシャルワーク学部の学生と交流

プログラム

多民族社会であるハワイには、すべてを受け容れていく「アロハ精神」が漲っています。

人々は互いに異なる言葉、思想、宗教、伝統、価値観等を持ちながらも、あらゆる垣根を取り払って生活しています。本セミナーは、多文化環境に関する学術的な研究と実践で第一級の評価を得ているハワイ大学マノア校と提携し、社会福祉を学ぶ大学院生・大学生をハワイに派遣し開催します。

プログラムは、主に「学生参加型」に組まれています。講義、ディスカッション、小グループのエクササイズ、現地のソーシャル・サービス機関の見学の他、地域住民とのふれ合い、カルチャーアクティビティなどを通して「アロハ精神」を体験しながら、現代アメリカのソーシャルワークの全体像を学習します。

様々なバックグラウンドを持つハワイの人々が調和の中に暮らす環境に身を置き、ソーシャルワーカーとしての感性を磨く、かけがえのない体験をしてみませんか。

カリキュラム（予定）

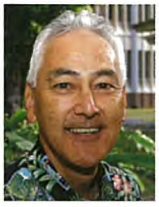
日付	午前	午後
第1週		
2月15日（土）	東京（成田）発 → ホノルル着 → ホテルへ	オリエンテーション
16日（日）	講義 古代ハワイの土地利用、生活、社会概念	講義 自己を知る
17日（月）	実習 サービス・ラーニング（ハワイ伝統文化の体験学習）	
18日（火）	講義 終末期ケア	講義 特別な支援と障がい者
19日（水）	講義 リーダーシップ	見学 クラナマラマ小児施設
20日（木）	見学 インスティテュート・フォー・ヒューマン・サービス（ホームレス・シェルター）	見学 カハウイキ・ビレッジ（ホームレス支援コミュニティ）
21日（金）	見学 ザ・プラザ（ケア付高齢者住宅）	見学 セント・フランシス・ホスピス
22日（土）	講義 プレゼンテーション・スキル・ビルディング	メンターセッション
23日（日）	自由	
第2週		
24日（月）	見学 アメリカ赤十字社：災害対策	講義 災害時のメンタルヘルス
25日（火）	見学 女性コミュニティー更生センター（女性刑務所）	見学 YWCA（女性のための社会復帰プログラム）
26日（水）	講義 パーソナル・ストーリー（メンターの経験談）	実習 チーム・ビルディング（ハワイ大学内探索）
27日（木）	プレゼンテーション発表	メンターセッションのまとめ
28日（金）	セミナーの振り返り、評価	修了式
29日（土） 3月 1日（日）	ホノルル発 → 東京（成田）着	

※夕方から夜にかけて、カルチャーアクティビティなどのセッションがあります。

メッセージ

ハワイ大学 MBT ソーシャルワーク学部長　**ノリーン・モクアウ**

セミナーは、より健全な世界を作り上げていくというビジョンを掲げ、日本とハワイを結ぶ架け橋を築いていく機会となります。“アロハ”という言葉には、思いやりや慈悲の心、優しさといった意味がこめられています。そして“アロハ”は、日本の学生たちが、ハワイ大学の学生や教師陣、コミュニティから学ぶと同時に私たちもまた、学生たちから学ぶというお互いの姿そのものを表しているのです。ハワイ大学 MBT ソーシャルワーク学部を代表致しまして、ユニベール財団の多大なる支援に対し心より感謝申し上げます。



ハワイ大学 MBT ソーシャルワーク学部　前国際プログラム・ディレクター　**ロナルド・マタヨシ**

参加学生たちは、「アロハ精神」や「オハナ」の意味を全身で会得し、またソーシャルワークに関わる様々な体験を通して自らの才能を発掘していきます。毎年セミナー開催のわずかの間に、参加者が飛躍的に大きく成長していく姿を見て大変嬉しく思います。このプログラムの一層の発展と継続を願ってやみません。

明星大学人文学部教授　**浅井 正行**

このハワイセミナーで、皆さんは人生を大きく変えるほどのインパクトを受けることでしょう。多民族社会・ハワイにおいてソーシャルワークを実践的に学ぶことは、かけがえのない財産となるはずです。ソーシャルワーカーの資質として重要な“人々を温かく包み込む”心、すなわちアロハスピリットを体験できることも、セミナーの強みです。参加者同士や現地スタッフと友情を築き、感動的な修了式「アロハパーティ」を一緒に祝いましょう。

武蔵野大学人間科学部准教授　**木下 大生**

グローバル化により、多文化共生社会の構築が求められています。そのような中で、ソーシャルワーカーに求められる役割は今後ますます大きくなってくることでしょう。多くの文化が融合するハワイにおいて、先駆的に発展してきた多文化共生ソーシャルワークを学び、日本国内、海外で活躍できるソーシャルワーカーとしての素地を共に形成しましょう。

東海大学健康学部教授　**妻鹿 ふみ子**

「1 粒で 2 度おいしい」これがハワイのソーシャルワーク実践です。1 つは、体系化されて専門性が高く、職務内容が明確、という米国流のソーシャルワークの神髄を学べること、もう 1 つは、日本にもかつては存在したのだけれども今は失われつつある、家族や近隣とのつながりを生かした Ohana 精神に充ちた支援が行われていることを肌で感じることができることです。ハワイの心地よい風に吹かれながらソーシャルワークを見つめ直しませんか。

募集要項

〔募集人員〕 20名
〔日　　程〕 2020年2月15日（土）～3月1日（日）16日間
〔開催場所〕 ハワイ大学マノア校
宿泊ホテル会議室、その他
〔対　　象〕 ソーシャルワーカーをめざす学生（大学院生・大学生）
＊通訳がつきますので英語の能力は問いませんが、英語習得にチャレンジする意欲のある学生を募集します。
〔費　　用〕 150,000円（概算）
この旅行を取扱う旅行会社から国際航空券を購入していただきます。
〔宿 泊 先〕 イリマ・ホテル（ツインまたはトリプルルーム）

イリマ・ホテル（ホノルル市ワイキキ）

〔申し込み〕 参加希望の方は、次のものをユニベール財団宛に郵送にてご提出ください。
＊所定の申込書
指導教員の推薦をいただいてください。
＊1,000字程度の作文
テーマ「ソーシャルワークについて思うこと・考えること」
〔締め切り〕 2019年10月11日（金）当日消印有効
〔選考結果〕 11月28日までにご連絡します。
＊選考の決定は文書によって通知致します。
＊提出いただきました申込書類は返却致しませんのでご了承ください。
＊採否の理由等、選考に関わる内容につきましてはお問い合わせに応じかねますのでご了承ください。

宿泊部屋

〔備　　考〕 ＊参加決定後に提携する旅行会社に申し込んで、成田空港－ホノルル空港往復国際航空券を購入していただきます。
（15万円を超えることはありません。）
＊宿泊代、保険料は、当財団でお支払い致します。（海外旅行傷害保険に加入していただきます。）
＊次のものは個人負担していただきます。
○食事代
朝食：簡単な朝食を当財団にて準備致します。
昼食・夕食：各5回と土日については個人負担していただきます。それ以外は当財団で準備致します。
○自由行動にかかる費用
○パスポートの取得、ESTA申請にかかる費用（未取得・未認証の方のみ）
○自宅から成田空港までの往復交通費
○その他現地での小遣い等
＊日本発着空港は「成田空港」となります。
＊セミナー参加に際して特別な配慮を要する場合は、選考後に費用等、参加に向けての協議をさせていただきます。
＊オリエンテーション（出発準備ガイダンス）を12月に都内で行います。
＊セミナー終了後に報告書（レポート）を提出していただきます。
＊個人情報の取扱いについて
参加申込書にご記入いただいた内容は、当セミナー選考委員による選考、当財団からご本人および指導教員への連絡以外には使用しません。なお、参加決定者については「本人氏名・学校・学部・学科・年次」「指導教員氏名」を講師・スタッフ・参加学生等のセミナー関係者に公表します。予めご了承ください。

〔お申し込み・お問い合わせ先〕
公益財団法人ユニベール財団
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8 YPCビル5階
電話：03（3350）9002　Fax：03（3350）9008　e-mail：info@univers.or.jp